

令和7年12月14日実施

令和8(2026)年度 写真学科

1. 小論文・作文問題

写真におけるパブリック性とプライベート性について、貴方はどのように考えますか。

(60分, 800字)

2. 面接試験

令和八年度(二〇二六年度)試験問題

次の文章を読んで、「恐怖」について論じなさい。

或る時、私達の間にごう言う事があった。たしか一昨年の今頃の時分だったと覚えている。その時分私の家に親しく訪ねて来る人が、その日も夕方から来て、いろいろな雑談をしていた。そのうちにだんだん夜も更けて来て、つい私がすきなものでいつもの「怪談」を始めた。よく覚えていたが、その晩は別に恐い話を沢山したとも思わないうちに、その部屋にはその友人と、私と、近頃亡くなった私の妻と三人がいた。その三人がいつとなしに、ある精神状態になっていた。

その心持を説明するのはむずかしいが、三人の感覚が余程しっかりと統一されていた。どうも何かの力が襲いかかって来ているようで、何でもなく出す言葉にまで、一種の恐しさが含まれていて、それを感じてはますますその深みにはまって行くと言う状態であった。

その時には平生居つけている部屋の中が、すべて異様な感覚を起させるものに成っていて、三人は自然と一團りに成ったように集って、声をひそめて話をしていた。

そのうちに午前一時頃だったと思うが、飲むお茶がなくなったので、私は妻に台所に行き湯を沸かして来てくれと頼んだ。

「私は恐くつていやです」と妻が言った。

「僕もいやだ」と私が言った。

「僕もいやだ」とその友人も言った。それで私は友人に

「では二人で行こう」と言うとき妻は

「私も行きます」一人で残るのは恐いと言って三人で台所に出て行った事がある。

この事を、私は面白い経験だと思っている。これはこう書いてしまうと至極平凡であるが、その時の私の記憶は、決して簡単ではなかった。私達はこの種の怪談ではかなり聞き馴れた方で、決して幼稚なすぐ驚いたり恐がったりする方ではなかったが、三人が何と言う事もなく、又それ程、その時には話し耽りもしないうちに、からだを包んでいるものからひしひしと押し寄せて来る、或る奇怪な力に感応し始めたのである。それで何時となく全身を縛り上げられたように成ってしまったのであった。

〔遠野物語の周辺〕 著者 水野葉舟 二〇〇一年 国書刊行会

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 一、〇〇〇字

※時間 一〇〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

令和八年度

(2026年度)

実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号 () (番、(氏名)です。

出身は (国名・都道府県名) で、学校は (学校名) 高校を卒業する予定です。

年齢は、() (歳です。

発声 二 【次の文章を朗読して下さい。尚、() 内は朗読しなくて結構です。】

著作権の都合上、省略。

(「リアル」だけが生き延びる」平田オリザ 著 株式会社ウェイツ)

動作

【次の内容をしぐさのみで表現して下さい。【設定は表現しなくて結構です。】

【設定】風の吹いている中、家の前の道路の掃き掃除を頼まれた。

イヤホンで音楽を聴きながら掃除している。

突風が吹いてきた。

集めていた落ち葉が舞う。また集める。

今度は風に飛ばされないように、早めにちりとりで拾う。それをゴミ袋へ捨てる。

残りの落ち葉を掃いていると、また突風が吹く。

目にゴミが入らないように手で押さえると、その反動でイヤホンが片方落ちてしまった。

イヤホンを探していると、後ろから声を掛けられる。

通行人が拾って渡してくれた。

お礼を言おうと顔を上げると、もう通行人は去ってしまっていた。

風が強くなってきたので、ゴミ袋を持って家へ戻っていく。

(そのまま退場して下さい)

2026 年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻）

令和7年12月14日

実技試験問題

〔内容〕 6時間 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く



〔モチーフ〕

- 柿 × 2
- さつまいも × 2
- レンガ × 2
- ワイン瓶 × 1
- ワイングラス × 1
- 塩が入ったガラス瓶 × 1
- 布 × 1

以上

2026 年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻）

令和 7 年 1 2月 14日実技試験問題

〔内容〕 6 時間分 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く



〔モチーフ〕

- ベンチ × 1
- フィンデンドロン × 1

以上

2026年度 校友枠選抜

作曲専攻 作曲(80分)

次の旋律を冒頭におき、オーボエ独奏(ピアノ伴奏なし)のための小品を作りなさい。



- 与えられた旋律の()内の音符の長さは自由です。
- テンポ、強弱、アーティキュレーション、フレージング、必要な音楽用語なども適宜書き加えること。

その他の注意事項：

- 小品は、提出用の五線紙に書くこと。
- 提出用五線紙の表紙に氏名と受験番号を書くこと。
- 下書き用五線紙は使わなくても構いません。
- この用紙と五線紙はすべて回収します。

2026年度 校友卒選抜
理論専攻 小論文(80分)

次の三つのテーマの中から一つを選び、1000字程度の小論文を書きなさい。
選択したテーマは、答案用紙の題目欄に記入すること。

1. 音楽の魅力について
2. 自分が最もよく知っている音楽について
3. 芸術的な音楽とは

令和八年度 文芸学科入学者選抜（校友枠選抜）

作文・小論文問題

■ 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。

（タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。）

① 「何かを受け継ぐ人」が登場する話を作文してください。

② 「失敗の意義」について自由に論じてください。

◎ 時間 六〇分

◎ 字数 八〇〇字以内

◎ 答案用紙の題名欄の上に、選んだ問題の番号（①か②）を記入してください。



令和8年度 校友枠選抜 演劇学科 作文課題

「自立」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。(600字/60分)

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号

氏名



令和8年度 校友枠選抜 演劇学科 舞台構想コース プレゼンテーション課題

「10年後の日本」について、あなたの考えをプレゼンテーションしてください。準備時間は60分です。その後、口述で5分発表をしてもらいます（個別）。

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は準備時間終了後に一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

受験番号 _____

氏名 _____

台詞や身体を用いた自由表現を行ってください。

ただし、入口と出口を表現の中に取り入れること。

「

※1 時間は3分以内とします。

※2 道具や音楽などを用いることはできません。

令和8年度 校友枠選抜 演劇学科 デザイン技術コース プレゼンテーション課題

「舞台芸術の発信にはどんな使命があるか」、あなたの考えをプレゼンテーションしてください。準備時間は60分です。その後、個別に口述で、5分以内で発表してもらいます。

※ 以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※ この用紙は準備時間終了後に、一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

受験番号 _____

氏名 _____

令和8年度 校友枠選抜 放送学科 作文試験問題

作文課題

「 風船 」

六〇〇 字

六十 分

試験実施日 令和7年12月14日（日）

デッサン(4時間)

用紙: B3画用紙

画材: 鉛筆

【課題】

与えられた「PET冷水筒1.0L」、「毛糸」、「グレーの紙(NTラシャB4版)」と、「想定 of 球体1つ」をモチーフに、以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. モチーフである「想定 of 球体」は、直径10cmとし、質感、色の設定は自由とする。
2. 毛糸は1m程度引き出した状態で配置すること。
3. グレーの紙(NTラシャB4版)は変形などの加工をせず、そのままの状態でもチーフの下にセットすること。
4. モチーフの固定には、ねりゴムを使用してもよい。
5. 台紙は描かなくてもよい。
6. 配布した白いコピー用紙(A3版)は下書きに使ってもよい。
7. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
8. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



デザインプレゼンテーション (4時間)

用紙:「B3ケント紙1枚+PMパッド1枚」

画材:鉛筆および色鉛筆

[課題]

**私たちの生活に馴染みがある「体育」にかかわる問題を見つけ出し、
あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。**

「体育(たいいく)」とは、「身体の教育」を意味し、心身の健全な発達を促し、生涯にわたって健康な生活を送るための運動能力や知識、態度を育てる教育分野である。学校の授業だけでなく、年齢を超えた生涯スポーツやリハビリテーションまで幅広い活動を含む。

この「体育」にかかわる方法や環境、器具・用具、服装など様々な観点からどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。

[条件]

1. 答案用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。)
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上